
crazycatnight

ユキロー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

crazy cat night

【Nコード】

N0756A

【作者名】

ユキロー

【あらすじ】

- 現代であつて、現代では無い。しかし未来であつて未来でも無い。あるいは過去であつて、過去でも無い - それではこの世界はなんなのだ？新選組をモチーフに製作。あの芹沢、新見が生きている！？かの有名な鬼の副長が女！？作者の妄想で作られる新選組の物語。

一匹の猫が『ナア』と歌う（前書き）

パケ代を気にしない御仁。「しゃくない。読んでやろうではないか」という、尊大なお子様、お姉様、お兄さん、奥様方、おとつあん、おじいさん、おばあちゃん。読んでやってください。作者が喜びます。小踊りしますから

一匹の猫が『ナア』と歌う

壱 - SFの物語でよく使われる20XX年。
それを真似して：俺が今生きてる200X年。

：今、あんたが生きてる時代とあんま変わんねえだろ？あんたらが
着ている服：スーツ、ジーパン、スカート、コート。
俺らも着てたんだぜ？ウチの事務所、スーツ着用が義務だったから
な。

まあ各々改造したけどね。

ハハッ…ひとつ聞くけど今あんたが生きてる世界は…その…平和か
い？……

「ねえ！ちゃんと聞いてるの！？」

「ん？」

「さっきからあなたは聞き流してばかり！少しはこちらの身にも
なつてほしいわ！！！」

彼女は今日の事をとて怒ってる

「わかってるよ。山南女史？」

「いいえ！あなたはわかってないわ！今日はこれで済んだけどこれ
からまた厳しくなる。それに病気の事も…」

「アハハ…済まなかったよ。本当に気をつけるから」

「ハア…いつもそう言って空返事。」

「良くわかってるね。」

そこにまた彼女は顔を真っ赤にして怒り出す

「沖田君！！！」

……じゃあもうヒトツの世界を見せてやるよ。

お前等が逆立ちしても空を飛んでも武器を持っても出来ないモノ、
見せてやるよ俺等はそれをやってきた。

マネする必要はネエよ？知って欲しいだけさ沖田誠。
それが俺の名だ。

弐 まず事務所の事を話さなきゃいけないここは、この地区の一画
を担う事務所、仕事は表向きには要人護衛、保護、警護、その他諸
々、地区を守るのも仕事だが…いや、どうせ本業なんて説明しなく
ても後々わかる事だ

「沖田さん。聞きましたよ？」

「何をだい？」

「まあ。山南さんを怒らせたりしてえ。会計方が愚痴こぼしてま
したよ。山南の姉さんは一度機嫌悪くすると、なかなか仕事をして
くれないって！」

「アハハツそりゃ悪い事したなあ。あの後も3時間も説教されっぱ
なしだったよ」

「3時間で…また新記録更新ですね（笑）。…確か前は、えっと…
2時間25分？」

「それは違うなあ。山崎君。2時間38分だ。それはひとつ前のも
のだ。」

「…まさか…狙ってます？」

「そう思う？」

事務所は居心地がいい。

思い出したくないことだって沢山ある。

ただどこここにはそれ以上に沢山の思い出が残ってる。

誰もがみんな自分の信念を持ってて、それに一生懸命だった。

自分が此処にいられたことがとても嬉しかった。

『激動』。

自分の人生を一言で示せというなら確実にこれだと思う。

激動の時代の中心にこの事務所と自分がいる。

『激動』を語れる事を光栄に思うこれが僕らの時代だ参 僕らの世界は東西南北の四つの國に別れている。

各國にはそこを治める統領が存在する東の國、東凱。

西の國、永西。

南の國、蓬南。

北の國、双北。

四つの國は今までも反発を繰り返し時には助け合ったり、牽制しあつてきたこの事務所は永西の統領、神崎栄二郎の管轄下にある

「ああ。俺、前々から沖田さんに聞きたい事があつたんです」

「？」

「沖田さんの武…」

ビー！ビー！ビー！ビー！山崎の質問を遮るかのようにけたたましい警報が鳴り響いた

「その質問はまたの機会にしようか？」

「お互い忙しい身ですね」

そう言い終わる前に二人は走り出したこここの事務所には総勢1000名に満たなくとも、この地区にしては、大所帯の方で活気があるそしてその四捨五入100名には、それを統べる長と副長、その下に隊長等の階級みたいなものが存在する

「遅い！何をしていた？」

「すいません。土方さん」

副長、土方千歳。

女性が副長を任される地区はここ意外に無く、女性ながら戦闘は他の者に引けを取らず、それだけではなく軍師としても才能を開花し、それは『鬼姫^{きぎ}』の二つ名を持つほどに

「さあ、今日の任務を説明する。心して、聞け」

一匹の猫が『ナア』と歌う（後書き）

書きたかった理由は、新選組が大好きだからです！ただただそれだけで頑張ります

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0756a/>

crazycatnight

2010年10月10日06時29分発行